

平成24年3月22日

フェニックス特別選抜などにより入学した大学院生の  
学位の取得について - 3月23日 学位を授与

生涯のうちの望む時期に大学での学修の機会が得られることは、生涯学習社会において大学に期待される役割の一つです。

広島大学では国立大学として期待される役割を果たすため、中高年者を対象とした入学制度として「フェニックス方式」を取り入れています。他の国立大学に先駆けて実施し、中高年者の大学教育に対するニーズに応じてきました。

フェニックス特別選抜方式などにより大学院に入学し、平成23年度修了予定者のうち、特に年齢の高い3人の学生を紹介します。

## ■博士課程前期修了予定者

### ○文学研究科博士課程前期人文学専攻

豊田宮子（とよた みやこ）80歳

平成19年4月1日、文学研究科フェニックス特別選抜により入学し、3月23日、『「禄」としての役割を果たす装束について－平安時代の作品を通して－』の修士論文で修士（文学）の学位が授与されます。4月からも研究生として、引き続き文学研究科で研究を続けます。

#### 【研究概要】

平安時代の文学作品にしばしば描かれている、装束が「禄」として授受される場面を網羅的に抜き出し、それぞれの表現を吟味して、「禄」の種々相を解明しようと試みた論文である。多くの作品に目を通して用例を丹念に収集し、「禄」を授受するという行為に多面的に光を当てている。

### ○生物圏科学研究科博士課程前期生物資源科学専攻

吉弘昌昭（よしひろ まさあき）73歳

平成21年10月1日、生物圏科学研究科社会人特別選抜により入学し、3月23日、『集落農場型農業生産法人の展開と組合員意識に関する研究～広島県における集落法人の事例を中心に～』の修士論文で修士（農学）の学位が授与されます。

#### 【研究概要】

「広島県の農林水産業は、農山漁村の過疎化に伴い農業従事者の急激な

減少と高齢化が進み、労働力不足、鳥獣害などによる耕作放棄地の増大など、農業生産において深刻な状況に直面し、まさに農業・農村は危機的状況にある。広島県ではそれに対応するため、全国に先駆け集落営農組織の法人化が進行している。本研究は、集落営農の法人化の歴史的経過を検証し、法人化のリーダー育成の重要性について検討を行った。さらに法人組合員の意識を把握するためにアンケート調査を行い、法人規模別の組合員意識の違いを比較検討し、規模の違いが組合員の参加に与える影響を明らかにした。

## ■博士課程後期修了予定者

### ○総合科学研究科博士課程後期総合科学専攻環境科学部門

青山昌義（あおやま まさよし）67歳

平成14年4月1日、総合科学部にフェニックス入学で入学し、平成18年3月に学士（総合科学）を取得して卒業しました。学部卒業後、平成18年に発足した総合科学研究科博士課程前期修士課程にフェニックス特別選抜により入学し、平成20年3月に修士（学術）を修了し博士課程後期に進学しました。

このたび3月23日、『ナノ粒子チタン酸バリウムの研究』の博士論文で博士（学術）の学位が授与されます。

#### 【研究概要】

強誘電体チタン酸バリウムは、温度が変わると構造が変わることが知られている。青山氏は、この物質の粒子サイズを変化させると、その粒径によって、3つの領域（100nm以上、70-85nm、50nm以下）に分類できることを実験的に明らかにした。100nm以上では通常の構造の変化を示すが、100nm以下の粒子では構造変化がなくなり、特に70-85nmの移行領域では結晶の特徴である並進対称性が無くなることを示した。更に、50nmの大きく歪んだ領域ではもはや高温と低温での違いもなくなっており、これまで考えられなかった菱面体揺らぎが重要であることを見出した。これは全く新しい学術上の知見であり、青山氏の高い研究能力によって解明された。

#### 【お問い合わせ先】

##### ○豊田宮子さんに関して

文学研究科学生支援グループ

TEL：082-424-6615 FAX：082-424-0315

##### ○吉弘昌昭さんに関して

生物圏科学研究科学生支援グループ

TEL：082-424-7908 FAX:082-424-6480

##### ○青山昌義さんに関して

総合科学研究科学生支援グループ

TEL：082-424-6318 FAX：082-424-8246